

葉害を出すと、先方との補償問題に可成り時間をとられ、その上会社の信用を著しく落とすので、作業員の教育と訓練はゆるがせにできない。

除草剤の散布作業は奥行きが深い仕事であるが、或る程度マスターしてしまうと、単純な繰り返し作業になって変化が少ないため、作業員のモラルが低下してくる。一種の職人気質まで伸びた人は別にして、若い人に研究の楽しさを教え、勤労意欲の向上に連結することが緊要のテーマになってきた。

9. お わ り に

非農耕地の除草剤散布は環境衛生上必要ではあるが、生産の必須条件ではないので、不況の時期は大変弱い体質をもっている。その上、除草作業は繁閑の差が大きく、不需要期対策が経営上大きなポイントになる。

個々の除草剤の使い方等については、当社のノウハウに属し公開をはばかるものが多いので、割愛させていただく。

甚だ浅学で文中書き足りなかった事とか、誤って解釈している点もあると思っているが、皆様方のご教示をいただければ幸いである。

昭和52年度水作関係除草剤 第一次適用性試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和52年度、水稻作関係除草剤第1次適用性試験について、昭和52年7月2日北海道地域(道立中央農試)において、試験担当者、専門調査員、当協会関係者が参会し、中間現地検討会を開催した。

また、試験成績の中央検討会は、東京(日本都市センター)において9月1日に開催し、最終的な試験成績を検討し、薬剤毎に判定を行った。その判定結果は次のとおりである。

昭和52年度水稻関係除草剤第一次適用性試験成績判定結果一覧表

No.	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	試 験 場 所	判 定
1.	G-315・SK	粒	・オキサジアゾン 1.5% ・ダイムロン 5.0%	〔稚苗〕 東北、関東東山東海、 近畿中国、(3カ所)	田植前後土壌処理で適用性あり(1年生・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ)、ノビエ1Lまで。
2.	OF-296	粒	・SKH-51 3.0% ・MT-101 10.0%	〔稚苗〕 東北、九州。 (2カ所)	除草効果、葉害に対して再検討。効果は早い時期で大きい。葉害発生程度も大きい。
3.	SKH-51 SM	粒	・SKH-51 3.0% ・シメトリン 1.5% ・MCPB 0.8%	〔稚苗〕 北東、北陸。 (2カ所)	茎葉兼土壌処理で適用性あり(1年生・マツバイ・ウリカワ・ヘラオモダカ)、ノビエ1Lまで。

No	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	試 験 場 所	判 定
4.	NRC-036	乳	・未 公 開 6.0%	〔稚苗〕北海道，東北，北陸，関 東東山東海，四国， (5カ所)	土壌混和（植代直後にごり水処理） で適用性あり，（1年生・マツバイ）。
5.	DPX- 4432	粒	・未 公 開 0.25%	〔稚苗〕北海道，東北，北陸，関 東東山東海，近畿中国， 四国，九州。（7カ所）	田植前後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ）。
6.	MH-77	粒	・未 公 開	〔稚苗〕北海道，東北，北陸，関 東東山東海，近畿中国， 四国，九州。（7カ所）	田植前後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ホタルイ・ミズ ガヤツリ・ヘラオモダカ）。
7.	CM-301	粒	・ONP 12.0% ・AC-92553 1.5% ・SK-23 5.0%	〔稚苗〕北海道，東北，九州， (3カ所)	田植前後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ホタルイ），ヘ ラオモダカにも可能性がある。
8.	MTS-1 ④	粒	・ONP 12.0% ・SK-23 7.0%	〔稚苗〕北海道，東北，九州， (3カ所)	田植前後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ホタルイ）。
9.	B-3015・ SK	粒	・未 公 開	〔稚苗〕北海道，東北，近畿中国， 九州。（4カ所）	田植前後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ホタルイ・ミズ ガヤツリ）。
10.	KPW-5	粒	・未 公 開	〔稚苗〕北海道，東北，近畿中国， 九州。（4カ所）	田植前後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ミズガヤツリ）。
11.	KPW-6	粒	・未 公 開	〔稚苗〕近畿中国，九州， (2カ所)	除草効果（不足）に対して再検討。
12.	AC-784	粒	・未 公 開	〔稚苗〕北陸，関東東山東海，九 州。（3カ所）	中止（被害大）。
13.	AH-11	粒	・未 公 開	〔稚苗〕東北，関東東山東海，近 畿中国，四国，九州， (5カ所)	減量して，効果・被害の検討，1 年生・マツバイ・ホタルイ・ミズ ガヤツリ・クログワイに効果あり， 但し水稻への被害も大きい。
14.	AH-12	粒	・未 公 開	〔稚苗〕北海道，東北，北陸，関 東東山東海，近畿中国， (5カ所)	田植後土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ホタルイ・ヘラ オモダカ）ノビエ2L，300g/a 以下で減量して再検討。
15.	AH-15	粒	・未 公 開	〔稚苗〕北海道，東北，北陸，関 東東山東海，近畿中国， (5カ所)	茎葉兼土壌処理で適用性あり（1 年生・マツバイ・ホタルイ・ウリ カワ・ヘラオモダカ・ミズガヤツ リ）ノビエ3Lまで。
16.	AH-16	粒	・未 公 開	〔稚苗〕東北，関東東山東海，近 畿中国，四国，九州， (5カ所)	除草効果，被害に対して再検討。
17.	AH-17	粒	・未 公 開	〔稚苗〕東北，関東東山東海，近	茎葉兼土壌処理で適用性あり（1

No	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	試 験 場 所	判 定
17.	AH-17 (つづき)			〔稚苗〕 畿中国, 四国, 九州. (5カ所)	年生・マツバイ・ホタルイ・ウリ カワ・ヘラオモダカ・ミズガヤツ リ)ノビエ3Lまで, クログワイ に効果ありそう。
18.	MM-2	粒	・MT-101 10.0% ・既知化合物 3.5%	〔稚苗〕 北海道, 東北, 関東東 山東海, 近畿中国, 九 州. (5カ所)	田植後土壌処理で適用性あり,(1 年生・マツバイ・ホタルイ・ウリ カワ・ヘラオモダカ)クログワイ にも可能性あり, ノビエ1.5Lまで。
19.	KH-202	粒	・未公開(3種混合) 10.8%	〔稚苗〕 北陸, 四国. (2カ所)	田植後土壌処理で適用性あり,(1 年生・マツバイ・ホタルイ・ウリ カワ)クログワイにも効果ありそ う, ノビエ2.5Lまで。
20.	KH-203	粒	・未公開(3種混合) 11.5%	〔稚苗〕 北海道, 北陸. (2カ所)	田植後土壌処理で適用性あり,(1 年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカ ワ・ヘラオモダカ)ノビエ2.5Lまで。
21.	MS-8 ①	粒	・MK-129 4.0% ・SK-23 6.0%	〔稚苗〕 北海道, 北陸, 四国. (3カ所)	田植前後土壌処理で適用性あり(1 年生・マツバイ・ホタルイ・ヘラ オモダカ)ノビエ2.5Lまで。
23.	HW-210	粒	・HW-148 7.0% ・既知化合物	〔稚苗〕 北海道, 東北, 近畿中 国, 九州. (4カ所)	薬害の軽減化, 再検討。

外 国 文 献 抄 録

除草剤土壌処理による光合成阻害を量的に
決定するための生物検定

PESTEMER, W.*: Quantitativer Biotest
zur Bestimmung von Photosynthesehe-
mmern im Boden. Weed Res. 16 (6):
357 ~ 363, 1976.

除草剤を土壌・水耕・セルローズ綿等の培地
に施し, そこに実現する植物の光合成阻害現象
を量的に把握するために実施した生物検定の報
告である。

材料と試験方法

検定植物の選定——生物検定の供試植物と

して広葉の Gartentresse (*Lepidium sativum*
silvestre L.) (胡椒草)をえらんだ。その理
由は, ①薬剤の広い濃度域に対して平均した段
階的反應を示すこと。②種子の大きさが均等で,
遺伝的に同質接合子であることの保証などに
よるものである。

除草剤の適用性を量的に検定しようとするば,
土壌以外の資材環境で作用性のカーブを作らね
ばならないので次のような試験を計画した。

水耕法——専用の1-1ガラス容器を用い
た水耕液に段階的に排列した濃度の除草剤を加
える。上部を黒色のプレートで覆い, 2mm直径
の小孔50をうがち, そこに, 発芽して1日を経